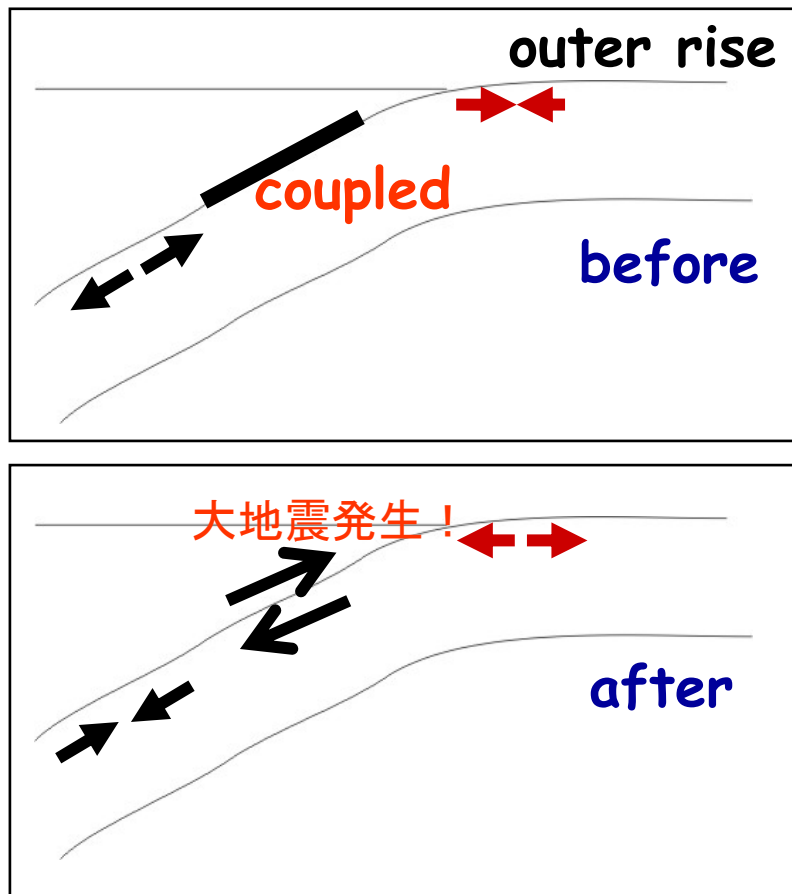


2007年1月13日の地震の震源過程解析結果（左）とすべり量分布図（右）
 左上図：震源時間関数、左中図：発震機構解、左下図：すべり量分布（濃い色ほどすべり量が大きいことを示す）、右図：赤=2006年11月15日の地震のすべり量分布、黄色：2007年1月13日の地震のすべり量分布



今回の地震の発生メカニズム(イメージ図)